



そのだ南

尼崎市立園田南小学校

学校便り 第4号

令和元年 6月5日

HPアドレス www.ama-net.ed.jp/school/E45/index.html

可能性を引き出すということ



校長 佐藤 喜代子

今年度の体育大会は、尼崎双星高校のお力を借り、広く美しいグラウンドで実施することができました。子ども達は、限られた時間と空間の中で懸命に練習し、準備してきました。例年と違って、プログラムは絞られましたが、その分、集中して取り組み、完成度を高めてきたように思います。一人ではできないことばかりです。とくに団体演技では、ほかの人と息を合わせるということが必要になってきます。合わせるということは、我慢することにつながります。おそらく子ども達は、痛い顔や弱音を吐きたいところをぐっところらえて一つのことをみんなのために頑張っているんだと思います。練習の様子を見てみると、本番が近づくにつれ、表情が違ってきます。その真剣な顔つきから見えてくるものはとてもかっこよく、たくましさを感じます。こうやってみんなで取り組むことの美しさや力強さ、感動は見ているものの心に響きます。そんな貴重な体験が、子ども達をぐっと成長させてくれると信じています。改めまして、支えていただいた全ての皆様に感謝申し上げます。

『いまこそ本を読むべきだ。』そんな言葉から始まる本を読みました。思考力を伸ばし、想像力を豊かにし、苦しいときも前進する力をくれ、自己を形成し、人生を豊かにするのに欠かせないのが読書です。小さい頃は誰でも読書が好きなのに、大学生になる頃にはほとんど読まなくなってしまうといわれています。

いやいや、ネットで文章を読んでいるよという人はたくさんいると思います。ネットで読むのと読書には重大な違いがあります。それは「向かい方」です。ネットで何かを読もうとするとそこにあるコンテンツにじっくり向き合うというより、パッと短時間で次に行こうとします。ネット上には大量の情報と共に気になるキャッチコピーや画像があふれています。それでますます一つのコンテンツに向き合う時間は短くなってしまいます。

現代人の集中力が低下しているという研究もあり、2015年のマイクロソフトの発表では現代人の一つのことに集中できる時間はたったの8秒で、2000年では12秒だったものが4秒も短くなっているそうです。ネット上で情報を読むのと読書とは行為として全然違い、ネットで文書を読むときは、私たちは読者ではなく消費者の状態です。こちらが主導権を握っていて、より面白いものを選び、どんどん切り捨ててこっちが面白かったと消費していく感じです。消費しているだけでは積み重ねができにくく、浅い情報は常にいくつかもっているかもしれませんが、人生が深くはなりません。海の浅瀬で貝殻を捕っているように深いところに潜ることができにくいと同じで、海に潜ると見たこともない世界や知らなかった世界が広がっているのにそれをしていないのです。

自分が選んで読むという読書は、しっかり構えて辛抱強く話を聞くのと同じことで、体験としてしっかり刻み込まれていくこととなります。そして、体験しているときと同じような脳の動きをされるといいます。体験は人格形成に影響し、自分一人の体験には限界がありますが、読書での疑似体験で人生観や人間観を深め、想像力を豊かにし、人格を大きくしていくことができます。読書によって実際の体験を何十倍にも活かすこともとも言えます。また、読書は人に深さを作ります。一つのことを尽きつめた深さだけではなく、幅広く実践的な知識を得ることにつながります。できるだけ専門的なことばかりに目を向けずに多角的な読み方が大事です。

今一番必要だといわれているコミュニケーション能力も文字で磨かれます。人の複雑な感情を瞬時に理解するのは認識力です。文字を読むことで複雑な感情を感じ取ったり、言語化する能力を身につけることができます。きっかけはテレビや動画でも、ラジオのような音声や漫画でもかまいません。そこから興味を広げて自分と異なる厚み、深み、広がりのある視点を手に入れていくことが大事です。自分一人では一度しかない人生が、いろいろな人が書いている本で他人の人生を追体験することができ、別の時代を生きた人や他の国に生きた人の人生も知ることができるのです。そうやって人が生きる意味を感じたり、人のことを理解する力をはぐくむことで自分自身が成長し、人生を豊かにすることができます。参照：「読書する人だけがたどり着ける場所」 斎藤孝 著

子ども達が朝読書や図書室にいる時間は、興味津々の輝く目をしてしています。今はまだ、興味のあるものばかり

や絵や漫画の多い本が目立つようにも見えますが、そこからどんどん広がって人生を豊かにしてほしいと切に願っています。

※ 通学途中での痛ましい事件が報道されています。いろいろなことを想定しながら子ども達の安全を確保し、命を守ることを第一に考えていく必要があります。本校でも安全指導等を強化してまいります。大人の目や見守りが多い方が安心です。お子様の登下校の時間に可能な範囲でのご協力をぜひよろしくお願いいたします。

6月 行事予定

1日(土)	体育大会		17日(月)		
2日(日)	体育大会予備日		18日(火)	社会見学(4年/クリーンセンター)	
3日(月)	代休日	諸費振替日	19日(水)	クラブ活動 水泳指導開始	
4日(火)	視力検査(2年)		20日(木)	歯科検診(4・6年)9:00~	現金集金日 ●
5日(水)	歯科検診(3年)9:00~		21日(金)		
6日(木)	代表委員会 歯科検診(5年)9:00~	●	22日(土)		
7日(金)	6年5時間授業 視力検査(6年)		23日(日)		
8日(土)			24日(月)	脊柱側弯症検査(5年)	
9日(日)			25日(火)	4年食育出前授業(ごはん塾)	
10日(月)	朝礼		26日(水)	委員会活動(写真予備)	
11日(火)	聴力検査(3年)		27日(木)	歯科検診(2年)9:00~	●
12日(水)	委員会活動(アルバム写真) 聴力検査(5年)		28日(金)	全校5校時授業(先生の会議のため)	
13日(木)	歯科検診(1年)9:00~ 火災避難訓練	諸費振替日 ●	29日(土)		
14日(金)	火災避難訓練予備日		30日(日)		
15日(土)			7月の行事予定 3日(水)オープンスクール・懇談会		
16日(日)			19日(金)終業式・大掃除		



1学期生活目標

きまりを守って規則正しい生活習慣を身につけよう

6月のめあて 雨の日の遊び方を工夫しよう



確かな学力は、学校と家庭との連携から

昨年度実施した、6年生を対象にした「全国学力・学習状況調査」によると、本校では、家庭学習が30分以下の児童が5%、家庭で計画的に学習をする児童が60%となっており、一昨年度と比べると少しずつ改善してきています。今後もさらに家庭学習の定着を進めていく為に、学校と家庭とが連携した取り組みを進めていきます。その一つとして、先日お配りした「家庭学習の手引き」(改訂版)では、1~2年生…30分以上、3~4年生…45分以上、5~6年生…60分以上の家庭学習の時間の確保をお願いしているところです。また、学校では、放課後学習や授業支援に教員を配置し、学習した内容の定着に取り組んでいます。さらには、昨年度より全学年で自主学習に、今年度からは全学年で放課後学習に取り組んでいます。(1年生は2学期から)

家庭におかれましても、家庭学習の時間の確保にご協力をお願いします。

あいさつ運動にご協力を！！

5月の半ばから、全校生が順番に校門に立ってあいさつ運動をしています。気持ちのよいあいさつの輪が広がるよう、保護者の方々が登校の子ども達に「おはよう」の声かけをお願いします。あわせて、本校のPTAから、本年度も旗当番のボランティアの募集がありましたので、お知らせいたします。

●参加していただく場合は、車等に注意喚起できるよう、保護者カードを着用してください。可能でしたら旗を持参してください。

●立ち位置は通学路であればどこでも構いません。無理のない範囲でのご協力をお願いいたします。



食育出前授業(4年)のお願い

日時：6月25日(火)10時30分~13時
場所：家庭科室(講演・試食ともに)

内容：1~6年生の保護者の皆様にも講演後、家庭科室で白米の試食会に参加していただけます。その際、白ごはんに合うおともをご持参していただいても構いません。詳細は、後日配布します別紙をご覧ください。